

プロジェクトリーダー: 南山大学 総合政策学部 石川良文教授

事業実績調書

(1) プロジェクト名	瀬戸市居住促進のための魅力分析と情報発信
(2) プロジェクトの成果	
① 名古屋市円頓寺商店街「星空マーケット」でPR活動 名古屋市円頓寺商店街で毎月1回開催されるイベントに参加し、瀬戸のツクリテ作品の展示、瀬戸市の店舗、観光、居住の魅力をPRした。展示に対して立ち止まった人(興味を持ってくれた)人は328人であり、特に20代、30代の人が多かった。	
② ワークショップ「作ろう!夢のまち せと」開催 若者の視点で、瀬戸を魅力的なまちにするための斬新なアイデアを出し合うワークショップを開催し、瀬戸市役所職員、瀬戸で活動されている方、愛知淑徳大学、金城学院大学、名古屋学院大学、名城大学、南山大学の学生計40人が参加した。開催後に行ったアンケートでは、ワークショップの満足度として大変満足と回答した方が74%、満足と回答した人が26%だった。また、8割の方が「新たなネットワークが生れたと感じる」と回答しており、ワークショップにより、まちづくりに対して新たな機運が生まれた。	
③ 深川神社でのライトアップ、スタンプラリーイベントの開催 瀬戸市銀座通り商店街で開催されたイベント(マルシェ)に参加し、ランタン飾りつけのワークショップを行った。立ち止まった人(興味を持ってくれた)人の数386人、飾りつけランタンのワークショップ参加者は48人だった。マルシェ終了後開催したライトアップイベント・スタンプラリーでは、瀬戸市の児童、ワークショップ参加者が飾りつけしたランタン100個とゼミ生作成のランタン100個、合計200個を深川神社にて点灯し、ライトアップイベントの参加者113人。スタンプラリー参加者は60人だった。イベントのターゲットである瀬戸市在住の小学生とその家族に多く足を運んでいただいた。イベント参加者には、「マルシェに活気があった」「夜の瀬戸の楽しみ方を開拓してくれた」との意見があった。	
④ 無料地域情報誌「せともぐ」の作成 女子大学生に向けて瀬戸市の魅力を伝えるフリーペーパー「せともぐ」を3,000部発行した。瀬戸市内各所、大学最寄り駅にて手配りで配布した。ワークショップ「作ろう!夢のまち せと」で実施した情報誌に関するアンケートでは、92%の学生が冊子により「より瀬戸に行きたくなった」と回答しており、冊子による瀬戸市の魅力発信は有効であったと言える。	
⑤ SNSによる瀬戸市の魅力発信 瀬戸市の魅力情報をInstagramで28回投稿し、フォロワー数は394人(2019年7月31日時点)から557人(2020年1月26日時点)に増やすことができた。1回の「いいね」数は平均115、最大189回だった。インプレッション数は、平均1,538回、最大4,525回。お店の投稿が特に人気だった。	
⑥ SNS上でのフォトコンテストの開催 SNS上でのフォトコンテストの開催を行った。68名から応募があり、写真の投稿枚数は、Instagram466枚、Twitter43枚、メール38枚、合計547枚だった。せともの祭り、岩屋堂ライトアップなどのイベントがあると、投稿が増える傾向にあった。	
⑦ 瀬戸市地域情報ポータルサイト『知ってせと、住んで瀬戸。』のリニューアル 過年度作成したホームページを更新した。プロジェクトの活動報告、月別コラムの掲載、新規ページを追加した。Twitterとの連携、フォトコンテストの結果を発表したことで、訪問者数が増加した。月の訪問者数は最大2,028人だった。	

(3) プロジェクト実施内容

本プロジェクトでは、①「円頓寺星空マーケット」でのPR活動、②ワークショップ「作ろう！夢のまち せと」開催、③深川神社でのライトアップ、スタンプラリーイベントの開催、④無料地域情報誌「せともぐ」の作成、⑤SNSによる瀬戸市の魅力発信、⑥SNS上でのフォトコンテストの開催、⑦瀬戸市地域情報誌ポータルサイト『知ってせと、住んで瀬戸。』のリニューアル、の7つの事業を行った。

① 「円頓寺星空マーケット」でのPR活動

名古屋市円頓寺商店街で毎月第4土曜日の16時30分から20時に開かれる「円頓寺星空マーケット」に10月26日参加した。イベントでは、ツクリテの作品（主にアクセサリや食器類）の展示・販売を行うと共に、瀬戸市のお店や観光情報、住むことのPR活動を実施した。また、瀬戸市内におけるお店や観光情報のビラの配布を行った。

② ワorkshop「作ろう！夢のまち せと」の開催

若者の視点で、瀬戸を魅力的なまちにするための斬新なアイデアを生み出すこと、行政、民間事業者、学生の3者が新たな活動の機運とするために、ワークショップ「作ろう！夢のまち せと」を開催した。ワークショップは11月30日13:40から16:30に開催し、瀬戸市役所、民間事業者、大学生の合計40名が参加した。参加者を5チームに分け、「瀬戸の若者が訪れたいまち」にするための架空のプロジェクトを考案した。

③ 深川神社でのライトアップ、スタンプラリーイベントの開催

イベント名「照らすウォーク」を2019年12月1日に瀬戸銀座通り商店街・深川神社で開催した。イベントでは、銀座何でも生き生きマルシェに参加し、10時から16時に手作りランタンに飾り付けを行うワークショップを実施した。マルシェ終了後16時30分から商店街から深川神社までの道のりでスタンプラリーを行い、ゴール地点である深川神社でランタンのライトアップを行った。

④ 無料地域情報誌「せともぐ」の作成

女子大学生に向けて瀬戸市の魅力を伝える無料地域情報誌「せともぐ」を3,000部作成した。20ページの紙面に飲食店、ツクリテに関する情報などの掲載を行った。

⑤ SNSによる瀬戸市の魅力発信

昨年度の事業で開設したInstagramのアカウントを用いて、瀬戸の魅力情報を投稿した。配信内容としては、瀬戸のおすすめカフェ、イベント情報、石川ゼミのプロジェクト紹介、瀬戸市のツクリテ紹介などを行った。2019年8月5日から2020年1月26日現在で28回投稿をした。

⑥ SNS上でのフォトコンテストの開催

「瀬戸の魅力が伝わる写真」を募集テーマにしたフォトコンテストを実施した。募集期間は9月1日から11月24日までであり、応募方法は、Instagram、Twitter、メールとし、SNSによる投稿では「#SET0フォトコンテスト2019」をつけて投稿することとした。フォトコンテスト参加者の中から、最優秀賞1名、優秀賞5名を決定した。

⑦ 瀬戸市地域情報誌ポータルサイト『知ってせと、住んで瀬戸。』のリニューアル

過年度に作成したホームページのリニューアルを行うこととし、記載情報の確認・更新、プロジェクトの活動報告、月別コラムの掲載、新規ページの追加などを行った。

(4) プロジェクトの今後の課題と展望

瀬戸市の魅力情報を収集し、配信する活動を行ってきたが、コンソーシアムの事業としては、同テーマでの申請に制限があるため、本事業は今年度で終了する。瀬戸市の魅力は日々増えており、常に更新し続けることが必要だが、情報発信をどのように継続するかが課題である。



円頓寺商店街「星空マーケット」でのPR活動



円頓寺商店街「星空マーケット」でのPR活動



ワークショップ「作ろう！夢のまち せと」



ワークショップ「作ろう！夢のまち せと」



銀座通り商店街でのランタンづくりワークショップ



深川神社でのライトアップ



銀座通り商店街・スタンプラリーのカード



子供たちによるランタンの作成



地域無料情報誌「せともぐ」表紙



地域無料情報誌「せともぐ」の記事



インスタグラムでの魅力発信



フォトコンテスト募集のチラシ



瀬戸市地域情報ポータルサイト



瀬戸市地域情報ポータルサイト更新内容